

担当教員 廣瀬 浩二郎				
開始時期 前期	開講期間 半期	科目番号 20DCSf08	授業形態 演習	単位 2
キーワード 触文化、手学問		対象学年 1,2,3 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 博物館研究演習Ⅱ				
科目名称：英語 SeminarⅡ (Museum Anthropology)				
科目の概要：日本語 ユニバーサル・ミュージアムの理論と実践				
科目の概要：英語 Theory and Practice of the Universal Museum				
科目の目的： ユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）の意義、国際的動向について理解する。				
学習成果・習得する技能や知識： バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを知り、さわる文化と見る文化の特徴を体験・学習する。				
成績評価方法・基準： 授業への参加（出席、発言内容）・・・30%、期末レポート・・・70%				
授業内容：日本語 ① ユニバーサル・ミュージアム概論 ② 日本におけるユニバーサル・ミュージアムの歴史 ③ 世界各国におけるユニバーサル・ミュージアムの事例 ④ 日本の障害者史 ⑤琵琶法師の芸能 ⑥イタコ・瞽女の活動 ⑦近代視覚障害教育の発展史 ⑧点字の歴史（日本編） ⑨点字の歴史（欧米編） ⑩「障害」の文化人類学 ⑪アメリカ障害者法成立の背景 ⑫博物館と障害者 ⑬バリアフリーとユニバーサルデザインの違い ⑭触文化展示の方法 ⑮触文化と博物館の未来				
日程： 受講生と協議により定める				

実施場所： 国立民族学博物館
使用言語： 日本語
準備学習： 毎回の授業で次回授業までの課題を出す（2時間程度のもの）
関連科目・履修条件： 文化人類学・日本史学の基礎的な知識を有する事
教科書・必読書： 使用しない
参考書・その他の教材： 広瀬浩二郎編『さわって楽しむ博物館』（青弓社、2012年）、広瀬浩二郎編『世界をさわる』（文理閣、2014年）、広瀬浩二郎著『身体でみる異文化』（臨川書店、2015年）
備考： 地域文化学・比較文化学の2専攻の学生のみ申請可